

2015年度 研究センター事業報告書

研究センター名	立命館サステイナビリティ学研究センター
研究センター長名	中島 淳

I. 研究成果の概要

本欄には、研究センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。

1. 外部資金による研究活動

- (1) 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業: ①事業元: 文部科学省 ②研究代表者: 理工学部・教授・近本智行 ③研究課題: 「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成」 ④2015年度 研究費用: 15,600,000 円、設備費: 27,600,000 円
- (2) 受託研究(環境省): ①委託元: 環境省 ②研究課題代表者: 政策科学部・特別任用教授・仲上健一 ③研究課題: 「平成27年度環境研究総合推進費(沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示)」 ④研究費用: 19,587,183 円
- (3) 受託研究(鹿島建設株式会社): ①委託元: 鹿島建設株式会社 ②研究代表者: 理工学部・教授・近本智行 ③研究課題: 「教室の環境と学習効率の調査・研究(その2)」 ④研究費用: 1,900,000 円
- (4) 受託研究(経済産業省 エネマネハウス 2015): ①委託元: エネマネハウス事務局 ②研究代表者: 理工学部・教授・近本智行 ③研究課題: 「水と暮らしの重ね箱」 ④研究費用: 15,983,557 円
- (5) 受託研究(環境省): ①委託元: 環境省 環境研究総合推進費 ②サブテーマリーダー: 理工学部・教授・橋本征二 ③研究課題: 「平成27年度環境研究総合推進費(持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究)」 ④研究費用 3,158,000 円
- (6) 受託研究(環境省): ①委託元: 環境省 ②研究代表者: 理工学部・教授・橋本征二 ③研究課題: 「平成27年度環境経済の政策研究 資源循環に係る環境効率に関する調査・検討」 ④研究費用: 10,447,559 円

2. 学内資金による研究活動

- (1) 資金名: 学術図書出版推進プログラム ①研究代表者: 理工学部・教授・武田史朗 ②研究課題: 「川に空間を! ~地球温暖化とオランダ環境デザインのパラダイムシフト~」 ③研究費用: 1,000,000 円
- (2) 資金名: 実用化・社会実装促進プログラム ①研究代表者: 理工学部・講師・石森洋行 ②研究課題: 「反応残渣シリコンを活用した放射能汚染焼却灰の無害化・減容化処理技術の開発」 ③研究費用: 1,500,000 円

3. プロGRESSレポート会議の開催

2015年7月1日(水) 於: OIC A棟北ウイング1階AN102会議室
キャンパスにまたがる研究者の連携を促進し、先端研究の情報共有の目的のために毎年開催。企業関係者を含む64名が参加し、教員4名、研究員4名、院生4名が発表を行い、活気ある研究会となった。

4. RCSフォーラムの開催

第1回 2015年8月20日(木) 於: OIC B棟3階「コロキウム」

河川、水資源・環境の持続可能性についての考察、および方向性探求をテーマに開催。企業関係者、市議員等の参加もあり、活発な意見が展開された。

第2回 2016年1月7日(木) 於: キャンパスプラザ京都 6階第1講習室

『エネルギー問題の解決に向けて-再生可能エネルギー、電力供給システム-』をテーマに開催。竹濱朝美・産業社会学部・教授および柿ヶ野浩明・理工学部・准教授の講演。引き続き質疑応答と、充実した意見交換の場となった。

5. エネマネハウス2015

2015年10月 於: 横浜みなとみらい
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスを目指すエネマネハウス2015において、「水と暮らしの重ね箱」を建築・展示し、優秀賞/エネルギー・資源賞を受賞するなど高い評価を受けた。また実際に建設し効果検証を行えたことは誠に有意義であった。

6. エコプロダクツ2015への出展

2015年12月10日(木) ~12日(土) 於: 東京ビックサイト
RCSの研究発信を目的として2010年度より毎年出展。エネマネハウス2015の模型やパネルを用い発表を行い、参加者から好評を得た。

7. 環境省「環境研究総合推進費」シンポジウム開催

2016年1月9日(土) 於: OIC B棟1階カンファレンスホール
環境省受託研究(持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理方法の開発)の一環としてシンポジウム「持続可能な沿岸海域管理と里海」を開催。

8. R-GIRO シンポジウム「サステイナビリティ・サイエンスと立命館の環境研究」

2015年5月26日(火) 於: BKC ローム記念館5階大会議室
水再生循環システムの構築を中心に、サステイナビリティ・サイエンスの現状と将来展望について考え、学術的で多面的な取り組みが、今後のビジネス展開や行政施策に役立てられることを目的に開催した。会場には企業関係者や学生・院生、教員など125名が来場した。

9. 第7回立命館地球環境委員会シンポジウム開催

2015年12月8日(火) 於: BKC ローム記念館5階大会議室
「食」をテーマに「地産地消」「フードマイレージ」「フェアトレード」など、持続可能な地域社会づくりについて学生の活発な意見が交わされた。

II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2016年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
センター長	中島 淳	理工学部	教授
運営委員	周 璋生	政策科学部	教授
	小幡 範雄	政策科学部	教授
	モンテ・カセム	政策科学部	特命教授
	仲上 健一	政策科学部	特別任用教授
	近本 智行	理工学部	教授
	橋本 征二	理工学部	教授
	赤堀 次郎	理工学部	教授
	酒井 達雄	理工学部	特別任用教授
	竹濱 朝美	産業社会学部	教授
	山神 進	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授
	有井 健	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授
	銭 学鵬	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	准教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	高尾 克樹	政策科学部	教授
	小杉 隆信	政策科学部	教授
	上原 拓郎	政策科学部	准教授
	太田 貴大	政策科学部	助教
	桜井 亮	政策科学部	助教
	村山 皓	政策科学部	特別任用教授
	建山 和由	理工学部	教授
	天野 耕二	理工学部	教授
	吉原 福全	理工学部	教授
	神子 直之	理工学部	教授
	今田 真	理工学部	教授
	高倉 秀行	理工学部	教授
	武田 史朗	理工学部	准教授
	峯元 高志	理工学部	准教授
	佐藤 圭輔	理工学部	講師
	石森 洋行	理工学部	講師
	吉川 直樹	理工学部	特任助教
	寺脇 拓	経済学部	教授
	島田 幸司	経済学部	教授
	松原 豊彦	経済学部	教授
武田 富美子	生命科学部	准教授	
薬師寺 公夫	法務研究科	教授	
Francisco FELLIZAR Jr.	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授(APU 副学長)	

	Malcolm COOPER	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	特別任用教授		
	Peter M. HECK	立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部	教授		
学内の若手研究者	専門研究員・研究員	李 明香	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	
		清水 聡行	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	
		陳 曉晨	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	
		WANG Tao	立命館グローバル・イノベーション研究機構	専門研究員	
		劉 念麟	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		リー リボ	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		ゾン ジェ	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		ソン シャオミン	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		パトリック アンダーソン	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		結城 郷	総合科学技術研究機構	専門研究員	
		補助研究員・リサーチアシスタント	吉岡 泰亮	衣笠総合研究機構	補助研究員
			牛 佳	衣笠総合研究機構	補助研究員
			Cherry Myo LWIN	総合科学技術研究機構	補助研究員
		学振特別研究員 (PD・RPD)	Sebastien DENTE		JSPS 外国人特別研究員
		博士後期課程院生・一貫制博士課程 3 回生以上在籍院生	吉川 和宏	理工学研究科	D3
			清水 信孝	理工学研究科	D2
			Md. Mahmudur Rahman	理工学研究科	D3
			伊藤 新	理工学研究科	M2
			王 斯蒙	政策科学研究科	M2
	その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・博士前期課程院生等)				
	客員協力研究員	朴 廷桓	韓国建国大学	講師	
		大野木 昇司	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		芳賀 普隆	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		田中 善紀	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		脇澤 學	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		山田 幸一郎	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		保田 祐子	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		Jason Daniel Wolfe	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		下村 耕治	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		神埼 護	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		村主 勝彦	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		仲村 匡司	衣笠総合研究機構	客員研究員	
		美濃羽 靖	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)	佐和 隆光 (RCS 顧問)	滋賀大学	学長	

Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2016年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	仲上 健一	政策研究を越える新地平 政策情報学の試み「環境政策と環境情報学」	共著	2015年11月	福村出版	中道 壽一 朽木 量 編	84-97
2	山神 進	国際政治と政策情報学	共著	2015年11月	福村出版	中道 壽一 朽木 量 編	36-67
3	桜井 良	最新環境百科	共著	2016年1月	丸善出版	松田裕之、秋庭はるみ、戎谷舞子、木村久美子、佐々木茂樹	1-50
4	桜井 良	とちぎの野生動物(私たちの研究のカタチ)	共著	2016年2月	随想舎	關義和、丸山哲也、奥田圭、竹内正彦	256-264
5	仲上 健一	水を分かちつ 一地域の未来可能性の共創	共著	2016年3月	勉誠出版	窪田 順平	273-293
6	武田 史朗	自然と対話する都市へーオランダの河川改修に学ぶー	単著	2016年3月	昭和堂		

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	周 璋生 錢 学鵬	The Introduction of a CO2 Emissions Trading System for Realizing an East Asian Low-Carbon Community	共著	2015年	Journal of Policy Science Vol.8	SU Xuanming	85-97	無
2	周 璋生 錢 学鵬	Strategic Choices for Low-Carbon China and Proposition of East Asia Low-Carbon Community	共著	2015年	Journal of Policy Science Vol.9	SU Xuanming, LI Fan	25-49	無
3	酒井 達雄	A Study on Very High Cycle Fatigue Properties of Low Flammability Magnesium Alloy in Rotating Bending and Axial Loading	共著	2015年	Applied Mechanics and Materials Vol.782	Shoichi KIKUCHI, Yuki NAKAMURA, Noriyuki INOMIYA	27-41	有
4	石森 洋行	Radio-Cs Leaching Behaviors and Controlling from MSW Incineration Fly Ash Consolidated by Cement	共著	2015年	Proceedings of the 15th International Congress on the Chemistry of Cement	Endo K, Yamada K, Ichikawa T, Yamada M, Osako M	1-4	無
5	近本 智行	まちなみ「サステイナブル社会の建築」	単著	2015年	大阪府建築士事務所協会、第61回～第73回 2015年4月号～2016年3月号			無
6	橋本 征二	Future sewage sludge generation and sewer pipeline extension in economically	共著	2015年4月	Journal of Material Cycles and Waste Management Vol.17 No.2	Cherry Myo Lwin, Kyaw Nyunt Maung	290-302	有

		developing ASEAN countries						
7	建山 和由	偏心モータによるジャイロ効果と章動を利用した小型・軽量な月面掘削システムに関する研究	共著	2015年4月	テラメカニクス Vol.35	横山 隆明	77-80	無
8	桜井 良	Understanding local fish consumption behavior in Laguna Lake watershed area, Philippines	共著	2015年4月	African Journal of Food Science Vol.9 No. 4	Gong, W. R. Kada	176-181	有
9	桜井 良	Factors influencing public participation in conservation activities in urban areas: a case study in Yokohama, Japan	共著	2015年4月	Biological Conservation Vol.184	H. Kobori M. Nakamura T. Kikuchi	424-430	有
10	桜井 良	Assessing the impact of a wildlife education program on Japanese attitudes and behavioral intentions	共著	2015年5月	Environmental Education Research Vol.21No. 4	S. K. Jacobson N. Matsuda T. Maruyama	525-539	有
11	酒井 達雄	静的強度特性値による機械構造用炭素鋼のS-N曲線に関する統計的推定	共著	2015年6月	材料 Vol.64 No.6	向山 和孝 花木 宏修 岡田 憲司 境田 彰芳 中村 裕紀 菅田 淳 西川 出 上野 明	479-485	有
12	武田 史朗	京都市「ちびっこひろば」において実施した防災イベントを含む活動に対する近隣住民の評価構造	共著	2015年7月	歴史都市防災論文集 Vol.9	山口 純 赤池 直樹	159-166	有
13	武田 史朗	新しい学びの空間とランドスケープ	単著	2015年7月	建築と社会 Vol.96 No.1119		20-21	無
14	武田 史朗	ルーム・フォー・ザ・リバー・プログラムの概要と論点	共著	2015年7月	日本造園学会誌 ランドスケープ研究 Vol.79 No.2	ディルク F. サイモンズ	91-92	無
15	武田 史朗	ルーム・フォー・ザ・リバー・プログラムにおけるコミュニケーション戦略	共著	2015年7月	日本造園学会誌 ランドスケープ研究 Vol.79 No.2	G.J. ムールパス M. トーナイク	93-95	無
16	武田 史朗	ナイメーヘン・レント地区におけるヴァール川拡幅計画のプランニングとデザイン	共著	2015年7月	日本造園学会誌 ランドスケープ研究 Vol.79 No.2	Douma, Jorien	96-98	無
17	武田 史朗	ルーム・フォー・ザ・リバー・プログラムにおけるランドスケープアーキテクトの役割	単著	2015年7月	日本造園学会誌 ランドスケープ研究 Vol.79 No.2		99-104	無
18	武田 史朗	オランダの河川デザインと新しい地域デザインの探求	単著	2015年7月	日本造園学会誌 ランドスケープ研究 Vol.79 No.2		105-107	無
19	石森 洋行 建山 和由	鉱さいと汚泥を用いた液状化対策改良土の開発	共著	2015年7月	第11回環境地盤工学シンポジウム発表論文集	岡本 晃尚 横山 隆明 釜本 英一		有

20	島田 幸司	An Empirical Study of Real-time Feedback and Dynamic Pricing Effects on Electric Power Consumption: Field Experiment on a Remote Island in Japan	共著	2015年7月	Proceedings of the 4th International Conference on Smart Cities and Green ICT Systems	Ochi Y., Matsumoto T., Matsugi H. Awata T.	201-208	有
21	酒井 達雄	Interior Crack Initiation and Growth Behaviors and Life Prediction of a Carburized Gear Steel under High Cycle Fatigue and Very High Cycle Fatigue	共著	2015年7月	Journal of Materials Research, Vol. 30, No.14	Wei LI Duo SUN Long DENG Yu ZHANG	2247-2257	有
22	酒井 達雄	フラクトグラフィによる熱間成形ばね用鋼 SUP7 の内部起点型疲労破壊メカニズムの検討	共著	2015年8月	材料 Vol.64 No.8	三浦 拓 榊原 隆之 三村 真吾 久野 隆紀 菊池 将一 上野 明	613-619	有
23	竹濱 朝美	ドイツにおける風力・太陽光電力の上流送電、系統連系の制度	単著	2015年8月	風力エネルギー Vol.39 No.2		161-173	無
24	神子 直之	紫外線促進酸化プロセスにおける紫外線エネルギー評価に関する検討	共著	2015年8月	用水と廃水 Vol.57 No.8	小尾口 達貴	596-604	有
25	今田 真	Soft X-ray photoemission study of Co ₂ (Cr _{1-x} Fe _x)Ga Heusler compounds	共著	2015年8月	Jpn. J. Appl. Phys. Vol.54 No.8	M. Tsunekawa, Y. Hattori,A. Sekiyama, H. Fujiwara, S. Suga, T. Muro, T. Kanomata, S. Imada	1-4	有
26	近本 智行	建築の射程第29回 「エネマネハウス2015 について」	単著	2015年8月	大阪府建築士会 2015年8月号		16-17	無
27	建山 和由	画像情報を用いた土の水分量推定技術開発研究	共著	2015年9月	第15回建設ロボットシンポジウム論文集	杉浦 俊充 横山 隆明 Shwetha Shivanna	0-33	有
28	清水 聡行 中島 淳 近本 智行 仲上 健一	国内外の大学キャンパスにおける雨水・再生水利用	共著	2015年9月	用水と廃水 Vol. 57 No. 9		42-50	有
29	建山 和由	古くて新しい土の締固め	単著	2015年10月	土木技術 Vol.70 No.10		8-13	有
30	仲上 健一	Assessing Sustainability for Satoumi Coastal Governance	単著	2015年10月	Proceedings of the Twelfth International Conference on the Mediterranean Coastal Environment (MEDCOAST 2015)		23-31	有
31	桜井 良	大学生の自然環境保全活動に対する意識と参加意欲	共著	2015年10月	環境情報科学 Vol.44 No.3	小堀 洋美	73-78	有
32	仲上 健一	水文学のパラダイムシフトとサステイナビリティ	単著	2015年10月	政治社会学会論叢 2015 Vol.3		35-40	無

33	橋本 征二	Improving urban metabolism study for sustainable urban transformation	共著	2015年10月	Environmental Technology and Innovation Vol.4	Wei Huang, Shenghui Cui, Masaru Yarime, Shunsuke Managi	62-72	有
34	桜井 良	ヒューマン・ディメンションとレギュラトリ科学ー野生動物管理における意思決定や政策評価のための科学の創生に向けてー	共著	2015年10月	政策科学 Vol.21 No.4	秋庭 はるみ 松田 裕之	525-539	無
35	村山 皓	人々の投票参加観の変化に見る民主的関与の今後の可能性	単著	2015年10月	立命館大学政策科学会『政策科学』 23巻1号		11-16	無
36	近本 智行	クーリングルームとヒューマンファクター	単著	2015年11月	建築設備士 Vol 47 No.11 建築設備技術者協会		20-24	無
37	武田 史朗	歩行者の GPS ログから生成されたネットワークによる歩行環境のモデル化とそれに基づく行動分析ー「てくペコチャレンジ」を事例として	共著	2015年11月	環境情報科学学術研究論文集 Vol.29	久保田 貴大 山口 純	195-200	有
38	桜井 良	Citizen science: a new approach to advance ecology, education, and conservation	共著	2015年11月	Ecological Research Vol.31 No.1	Kobori, H., J. L. Dickinson, I. Washitani. et al.	1-19	有
39	酒井 達雄	Microscopic and Nanoscopic Observations of Metallurgical Structures around Interior Crack Initiation Site for a Bearing Steel in Very High Cycle Fatigue	共著	2015年11月	Fatigue and Fracture of Engineering Materials and Structures, Vol.38, No.11	Noriyasu OGUMA Akinari MORIKAWA	1305-1314	有
40	建山 和由	施工時荷重によるシールドトンネル覆工の挙動事例とその解析方法の提案	共著	2015年11月	土木学会論文集 F1 (トンネル工学), Vol. 71 No. 3	長屋 淳一, 橋本正, 小山 幸則, 塚田 泰博	94-111	有
41	建山 和由	Properties of compacted soil as a function of dry density and the degree of saturation	共著	2015年11月	Proceedings of the 5th Asian Regional Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering	F.Tatsuoka, K.Fujishiro, K.Tateyama, S.Kawabe, Y.Kikuchi	142-147	有
42	建山 和由	Real-time investigation and Evaluation of surface moisture using non-destructive techniques	共著	2015年11月	Proceedings of the 13th European Conference of the International Society for Terrain-Vehicle Systems,	T. Sugiura, S.Shivanna, T.Yokoyama,	329-334	有
43	建山 和由	A method of evaluating ground stiffness based on the running speed of a reversible plate compactor	共著	2015年11月	Proceedings of the 13th European Conference of the International Society for Terrain-Vehicle Systems	T. Hashimoto, K. Fujino	433-440	有
44	Md. Mahmudur	Categories and Water Quality of	共著	2015年12月	J. Water and Environment Technology, Vol.13 No.6	Md. Mahmudul Hasan	411-426	有

	Rahman, 中島 淳	Artificial Water Storage Ponds in Rural Areas of Khulna, Bangladesh						
45	Md. Mahmudur Rahman 中島 淳	Development and Application of a Pond Water Filtration Unit Using a Simple Ceramic Filter in a Rural Area of Bangladesh	共著	2015年12月	Jpn J. Water Treatment Biology, Vol.51 No.4		127-140	有
46	近本 智行	ESCO 事業の長期性能検証 第2報—ベースライン補正式の精度検証	共著	2015年12月	空気調和・衛生工学会論文集 No.225	田邊 陽一	13-21	有
47	仲上 健一	青春の水文学	単著	2015年12月	水資源・環境研究 130-134 Vol.28 No.2		130-134	無
48	銭 学鵬 仲上 健一 周 璋生	消費者意識調査による中国の食品安全信頼とその影響要因に関する研究	共著	2015年12月	フードシステム研究 Vol.21 No.4	王 鳳陽	299-304	有
49	建山 和由	振動ローラの加速度計測を利用した地盤反力について	共著	2015年12月	平成27年度建設施工と建設機械シンポジウム論文集	横山 隆明 藤村 貢	77-80	有
50	建山 和由	中小零細建設業を対象にする映像を活用したCIMの開発	共著	2015年12月	平成27年度建設施工と建設機械シンポジウム論文集	須田 清隆 可児 憲生 渋谷 義博	67-70	有
51	近本 智行	勾配屋根を有する越屋根付設住宅の自然換気量算定	共著	2016年1月	日本建築学会環境系論文集 第81巻 第719号	小林 知広 梅宮 典子 長田 啓志	83-91	有
52	桜井 良 太田 貴大 上原 拓郎 仲上 健一	Factors affecting residents' behavioral intentions for coastal conservation: Case study at Shizugawa Bay, Miyagi, Japan	共著	2016年1月	Marine Policy Vol.67(2016)		1-9	有
53	近本 智行	立命館大学びわこ・くさつキャンパス新棟「トリシア」	共著	2016年1月	建築設備と配管工事、日本工業出版(2016年1月増刊号 病院・ホテル・学校・大型施設)	小林 陽一		無
54	赤堀 次郎	A discrete-Time Clark-Ocone Formula and its Application to an Error Analysis	共著	2016年1月	Springer, Journal of Theoretical Probability	Takafumi Amaba, Kaori Okuma	1-29	有
55	天野 耕二	Greenhouse gases reduction potential through consumer's behavioral changes in terms of food-related product selection	共著	2016年1月	Applied Energy Vol.162	Naoki Yoshikawa, Natsumi Fujiwara, Junko Nagata,	1564-1570	有
56	今田 真	Mixed-valence state of Ce and its individual atomic moments in Ce ₂ Fe ₁₄ B studied by soft X-ray magnetic circular dichroism	共著	2016年1月	Intermetallics 69	J. Wang, L. Liang, L. T. Zhang, M. Yano, K. Terashima, H. Kada, S. Kato, T. Kadono, S. Nakamura, S. Hirano	42-46	有

57	酒井 達雄	A Study on Very High Cycle Fatigue Property of High Strength Steel for Particular Use as Medical Tablets Compressing Punches	共著	2016年1月	Key Engineering Materials Vol. 664	Akio KOKUBU, Shoichi KIKUCHI, Hiroshi TANAKA, Fumiharu IKAI, Kazutaka OKUMOTO	221-230	有
58	酒井 達雄	Fatigue Crack Initiation and Propagation Behaviors in Rotating Bending of SNCM439 Steel in Very High Cycle Regime	共著	2016年1月	Key Engineering Materials Vol. 664	A. NAKAGAWA, B. LIAN, T. KONDO, D. P. ROMMILY, N. OGUMA, M. JONO	255-266	有
59	李 明香 近本 智行	人体温熱感を指標とした温水床暖房の室内環境解析	共著	2016年1月	日本建築学会環境系論文集 第81巻 第719号	尾崎 明仁	65-71	有
60	建山 和由	ロボットとの融合による建設産業の新たな展開	単著	2016年1月	ロボット No.228		4-9	有
61	建山 和由	舗装工事におけるロボット技術の導入と展開	単著	2016年1月	道路建設 No.754		24-27	有
62	仲上 健一	政策情報学会 10年の歩みについて	単著	2016年2月	政策情報学会誌 Vol.9 No.1		8-9	無
63	仲上 健一	統合的水資源管理の自己超克-近代的統合を経た適応型管理に基づく地域の未来設計-	共著	2016年2月	政策情報学会誌 Vol.9 No.1	加藤 久明	43-53	有
64	建山 和由	Achievement and Future Prospects of ICT Construction in Japan	単著	2016年2月	Journal of Robotics and Mechatronics Vol. 28, No.2		122-128	有
65	天野 耕二	Development of an Integrated Environmental Impact Assessment Model for Assessing Nitrogen Emissions from Wastewater Treatment Plants	共著	2016年2月	Journal of Water and Environment Technology Vol.14 No. 1	Mishima, I. Yoshikawa, N. Yoshida, Y. Amano, K.	6-14	有
66	太田 貴大 上原 拓郎 桜井 良 仲上 健一	きれいで豊かな海の経済価値—広島湾北東部の海水浴場とカキ養殖の事例—	共著	2016年3月	政策科学 Vol.23 No.4		99-120	無
67	仲上 健一 小幡 範雄 高尾 克樹 上原 拓郎 太田 貴大 桜井 良 吉岡 泰亮 牛佳、 陳 曉晨	沿岸域の生態系サービスを軸とした沿岸域管理	共著	2016年3月	環境技術 Vol.45 No.3	峰尾 恵人	118-125	無
68	仲上 健一	水資源環境危機の超克と戦略的構想力-国連「世界水発展報告書」の提起-	単著	2016年3月	政策科学 Vol.23 No.4		269-285	無
69	仲上 健一	持続可能な沿岸海域管理 (特集のねらい)	単著	2016年3月	環境技術 Vol.45 No.3		3	無
70	陳 曉晨	Development of natural treatment	共著	2016年3月	Journal of Environmental Sciences Vol.41	Kensuke Fukushi	44-50	有

		system consisting of black soil and Kentucky bluegrass for the post-treatment of anaerobically digested strong wastewater						
--	--	---	--	--	--	--	--	--

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	周 璋生	The construction of a wide-area green economic zone-Strategic Choices for Green China and Proposition of China-Japan-Korea Circular Economy Model Base (Keynote Speech)	2015年4月11日	International Workshop on the Theories and Practices of Green Growth(INWOGG) Dailian China	
2	村山 皓	How much of an administrative link is there in people's expectation of a Disaster policy?	2015年5月8日	International Conference of disaster reduction (ICDR 2015)	
3	仲上 健一	第7回世界水フォーラム報告	2015年5月11日	SSC 研究開発部会/2015年度第1回部会	
4	仲上 健一	沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示	2015年5月18日	環境戦略研究 S13「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」平成27年度第1回アドバイザーボード会合	
5	仲上 健一 銭 学鵬 陳 曉晨	水再生循環の地域マネジメントと水資源環境政策	2015年5月26日	立命館グローバル・イノベーション研究機構環境研究拠点シンポジウム「サステナビリティ・サイエンスと立命館の環境研究」	朱 可為
6	吉岡 泰亮	生態系サービスの経済評価-沿岸海域を中心に-【ショートプレゼン&ポスター発表】	2015年5月26日	立命館グローバル・イノベーション研究機構環境研究拠点シンポジウム「サステナビリティ・サイエンスと立命館の環境研究」	
7	王 鳳陽 銭 学鵬 周 璋生 仲上 健一	アンケート調査による中国消費者の食品安全 認知と態度に関する研究	2015年5月30日	日本食生活学会第50回大会	
8	王 鳳陽 銭 学鵬 周 璋生 仲上 健一	消費者意識調査による中国の食品安全信頼とその影響要因に関する研究	2015年5月31日	日本フードシステム学会2015年大会	
9	仲上 健一 小幡 範雄 吉岡 泰亮	沿岸域の適正管理に関する研究 -宮城県南三陸町志津川地区におけるアンケートを事例として-	2015年6月6日	水資源・環境学会第32回研究大会	
10	仲上 健一	水文学のパラダイムとサステナビリティ	2015年6月13日	関東政治社会学会 (政治社会学会関東支部) 第15回研究会	
11	仲上 健一	Water Management related to Sustainability and Human Well-being - Beyond the IWRM from Local Water Sustainability-	2015年6月17日	RIHN 10th International Symposium Beyond Stakeholder Engagement : The people, cultures, institutions, and ecologies of new water governance	
12	桜井 良	復興支援員への聞き取り調査から明らかにする支援活動の現状：福島県田村市の	2015年6月21日	日本環境学会 第41回研究発表会	奥田 加奈 塚原 大介

		事例より			
13	仲上 健一	メコン河の流域開発とベトナムの持続的発展	2015年6月27日	2015(平成27)年度海外学術調査フォーラム	
14	武田 史朗	ネットワークバッファを用いた道路連結性の評価手法の提案	2015年6月27日	日本建築学会近畿支部研究発表会	山口 純 安田 優
15	武田 史朗	VR空間における指示代名詞による3次元空間の領域文節に空間の「限定性」が与える影響	2015年6月27日	日本建築学会近畿支部研究発表会	山口 純 佐藤 建
16	武田 史朗	歩行意欲および歩行実績に近隣環境条件が与える影響に関する研究・草津市野路地及び野路東を対象として	2015年6月27日	日本建築学会近畿支部研究発表会	山口 純 赤池 直樹
17	王 鳳陽 周 璋生 銭 学鵬 仲上 健一	消費者意識調査による中国の食品安全信頼とその影響要因に関する研究	2015年7月1日	立命館サステナビリティ学研究センタープロGRESSレポート会議	
18	牛 佳 仲上 健一	Development of an operational sustainability assessment framework for a regional scale ICZM	2015年7月1日	立命館サステナビリティ学研究センタープロGRESSレポート会議	
19	桜井 良	住民の沿岸域の保全意欲に影響を与える要因の分析：宮城県志津川湾の事例より	2015年7月1日	立命館サステナビリティ学研究センタープロGRESSレポート会議	
20	清水 聡行 銭 学鵬 橋本 征二	Effects of Water Quality Differentiation in Water Supply Systems on Material and Energy Consumption	2015年7月1日	The 8th Conference of the International Society for Industrial Ecology	Tao Wang Shuming Liu,
21	清水 聡行 橋本 征二	Municipal Water Cycle in China: Unraveling the Nexus of Water, Materials, and Energy	2015年7月1日	The 8th Conference of the International Society for Industrial Ecology	Sébastien M.R. Dente Wang Tao
22	陳 曉晨 仲上 健一 銭 学鵬 中島 淳	Lake management in the urban agglomeration of Lake Biwa Region, Japan: ecosystem services-based sustainability assessment	2015年7月5日	9th IALE World Congress	Jia Niu Jianhua Li
23	太田 貴大 Monte Cassim 銭 学鵬	Integrated Landscape Conservation of Traditional Agricultural Regions in Urban Agglomeration: Case Study of Uji Tea Growing Region	2015年7月7日	9th IALE World Congress	
24	赤堀 次郎	Asymptotic and Exact Semi-Static Hedges of Barrier Options	2015年7月7日	The Third Asian Quantitative Finance Conference	
25	周 璋生	Strategic Choices for Low-carbon China and Proposition of East Asia Low-Carbon Community(Keynote Speech)	2015年7月7日	Asian Development Bank (ADB) "Strategic Analysis and Recommendations for Achieving the 2020 Low-carbon Goal" Beijing.	
26	Monte Cassim 太田 貴大 銭 学鵬	Developing an automated tree species identification system to reconnect urban citizens to local vegetation: Introduction of TerraGreen Network	2015年7月7日	9th International Association of Landscape Ecology	

		(TGN) project			
27	周 瑋生	Strategic Analysis and Recommendations for Achieving the 2020 Low-carbon Goal	2015 年 7 月 7 日	Strategic Choices for Low-carbon China and Proposition of East Asia Low-Carbon Community	
28	仲上 健一 陳 曉晨 牛 佳 錢 宇鵬 中島 淳	Lake Management in the Urban Agglomeration of Lake Biwa Region, Japan: Ecosystem Services-Based Sustainability Assessment	2015 年 7 月 8 日	9th IALE World Congress ; Symposium 'Building Regional Sustainability in Urban Agglomerations : the History, Present, and Future'	李 健華 韓 Ji
29	石森 洋行	大型土槽実験による特定一般廃棄物焼却灰埋立時の上部隔離層および下部土壌吸着層における雨水浸透とセシウム移行挙動の解明	2015 年 7 月 8 日	第 4 回環境放射能除染研究発表会	遠藤 和人 肴倉 宏史 山田 正人 大迫 政浩
30	石森 洋行	特定一般廃棄物の埋立処分による放射性 Cs の動態評価に関する一考察	2015 年 7 月 9 日	第 4 回環境放射能除染研究発表会	遠藤 和人 山田 正人
31	天野 耕二 吉川 直樹 島田 幸司	Effect of household characteristics and behavior on life cycle environmental impact of household	2015 年 7 月 9 日	8th International Conference of Industrial Ecology	
32	石森 洋行	1,4-ジオキサン等の有機化合物に対する遮水シートノ遮蔽性能とメカニズムの解明	2015 年 7 月 22 日	平成 26 粘土廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究費助成制度成果発表会	
33	桜井 良	Overview of environmental and wildlife education program at Chiba University, Japan	2015 年 7 月 28 日	Fifth International Wildlife Management Congress	
34	桜井 良	Collaborative human dimensions research between university and government: case study of black bear management in Japan	2015 年 7 月 29 日	Fifth International Wildlife Management Congress	
35	吉川 直樹 天野 耕二	Development of an Integrated Environmental Impact Assessment Model for Assessing Nitrogen Emissions from Wastewater Treatment Plants	2015 年 8 月 6 日	Water and Environment Technology Conference 2015	Iori MISHIMA, Yukihito YOSHIDA
36	桜井 良	「若手が考える 20 年後の環境教育」プロジェクト：スタートアップ・ワークショップ	2015 年 8 月 23 日	日本環境教育学会第 26 回大会	中村 和彦
37	桜井 良	Assessing the effectiveness of the environmental education program taught in English to students from all over the world at Chiba University	2015 年 8 月 23 日	26th Annual Meeting of the Japanese Society of Environmental Education	
38	石森 洋行	固化特性を利用した焼却灰の有効利用に関する研究	2015 年 9 月 2 日	第 26 回廃棄物資源循環学会	筒井 祐貴、建山 和由
39	石森 洋行	鉱さいと汚泥を有効活用した液状化対策改良土の性能評価	2015 年 9 月 2 日	第 26 回廃棄物資源循環学会	岡本 晃尚、横山 隆明、 建山 和由、釜本 英一

40	石森 洋行	セメント固型化物からの化学物質溶出量に与える試料表面積の影響	2015年9月3日	第26回廃棄物資源循環学会	伊藤 隆志 遠藤 和人
41	武田 史朗	大阪いばらきキャンパスというランドスケープ	2015年9月5日	日本建築学会大会建築デザイン発表会	及川 清昭、大橋幸雄、 石井 康人、永井 務
42	武田 史朗 建山 和良	大学キャンパス創造における教・職・学連携型キャンパス計画への取組み - キャンパス計画室の果たす役割について -	2015年9月5日	日本建築学会大会建築デザイン発表会	大藪 康成 及川 清昭
43	周 璋生	Global Political Economy and Green Growth (Keynote Speech)	2015年9月6日	Global Shapers Community SHAPE China 2015, Dailian China	
44	神子 直之	下水中の大腸菌フェージ粒子と遺伝子の紫外線耐性	2015年9月15日	第18回日本水環境学会シンポジウム	神前 和
45	神子 直之	分光照度計を用いたウイルスの紫外線耐性の予測	2015年9月15日	第18回日本水環境学会シンポジウム	中村 栄希
46	神子 直之	深紫外光源と次亜塩素酸を用いたアンモニア除去プロセス	2015年9月15日	第18回日本水環境学会シンポジウム	久保田 亜紀
47	石森 洋行	油汚染土壌バイオパイル処理における効果的な酸素供給方法の解析的検討	2015年9月18日	第70回土木学会全国大会年次学術講演会	河村 大樹、佐々木 静郎、 門倉 伸行、村上 順也
48	林 祥偉 周 璋生 銭 学鵬 仲上 健一	アンケート調査による中国国民生活満足度に関する研究—中国龍泉市、福州市の生活満足度調査を通じて—	2015年9月19日	環境経済・政策学会2015年大会	
49	王 鳳陽 銭 学鵬 周 璋生 仲上 健一	グローバル経済における日中食品安全協力の現状と課題	2015年9月19日	環境経済・政策学会2015年大会	
50	桜井 良 太田 貴大 上原 拓郎 仲上 健一	住民の沿岸域の保全意欲に影響を与える要因の分析—宮城県志津川湾周辺域のインターネットアンケートより—	2015年9月19日	環境経済・政策学会2015年大会	
51	仲上 健一 陳 曉晨	世界の水道民営化の背景と課題	2015年9月26日	第24回水とくらしの110番シンポジウム	
52	赤堀 次郎	Hedging Error as a Timing Risk and its Static Hedge	2015年10月2日	Columbia-JAFEE Conference 2015	
53	赤堀 次郎	Hyperbolic Brownian motion in finance	2015年10月5日	Drexel Math Colloquium	
54	仲上 健一	Assessing Sustainability for Satoumi Coastal Governance	2015年10月6日	MEDCOAST2015	
55	佐藤 圭輔	Impact Assessment of Climate Change on Water Resources in the Kabul River Basin, Afghanistan	2015年10月8日	17th International Conference on Water Resources and Renewable Energy Development, Osaka, Japan	
56	村山 皓	行政信頼を政治信頼から区別する意味	2015年10月11日	日本政治学会2015年度総会・研究大会	
57	赤堀 次郎	A probabilistic approach to Sato Grassmania	2015年10月20日	Purdue University Probability Seminar	
58	赤堀 次郎	On static hedge of barrier options	2015年10月23日	Probability Seminar at University of Cincinnati	
59	仲上 健一	「川づくりの来し方・行く末：河川法制定120周年に寄せて」	2015年10月29日	『水資源・環境研究』第29巻第1号(2016年6月発行)特集企画	尾田 榮章、野田 浩二、 大野 智彦、宮永 健太郎
60	島田 幸司	近畿地方民生部門における分散型電源の電力融通ポテンシャル評価	2015年11月1日	計測自動制御学会システム・情報部門SSI2015	
61	仲上 健一	沿岸海域の生態系サービス	2015年11月6日	環境省「環境研究総合推進費」S-13	

		の経済評価・統合沿岸管理モデルの提示	日	「持続可能な沿岸海域実現を目指した沿岸海域管理手法の開発」平成27年度拡大アドバイザーボード会合	
62	周 瑋生	Construction of Smart Society and East Asian Low-carbon Community	2015年11月9日	2015 International symposium of smart sensor and its application in kitchen, Guangdong	
63	周 瑋生	東アジア低炭素共同体の構築と政策工学の創成	2015年11月19日	立命館大学政策科学部主催国際シンポジウム「都市の持続性と公共政策」	
64	佐藤 圭輔	Analysis of the runoff load characteristic in the Aso Bay Basin using integrated watershed model BASIN-HSPF	2015年11月20日	JSPS-ACP (IWM):5th Comprehensive Symposium (CS5)	Hiroki Yamamura
65	佐藤 圭輔	Runoff Simulation for Applying Flood Design System to the Johor River Watershed, Malaysia	2015年11月20日	JSPS-ACP (IWM):5th Comprehensive Symposium (CS5)	
66	桜井 良 太田 貴大 上原 拓郎 仲上 健一	住民参加型の里海の保全管理に向けて - 岡山県日生町のネットアンケート調査より	2015年11月22日	野生生物と社会 学会 第21回大会	
67	桜井 良	ロジックモデルとは何か	2015年11月23日	野生生物と社会 学会 第21回大会	
68	島田 幸司	An Experimental Study on Electric Power's Dynamic Pricing Impacts on Consumer Behavior	2015年11月25日	The 10th International Conference on the "Regional Innovation and Cooperation in Asia"	
69	周 瑋生	中国の環境問題の現状と今後の展望	2015年11月28日	2015年度関西日中関係学会秋季研究例会、龍谷大学	
70	仲上 健一	水資源環境問題の超克とサステイナビリティ評価 - エンジニア・エコノミストの挑戦 -	2015年12月5日	国際公共経済学会第30回大会	
71	神子 直之	Application of ultraviolet irradiation to breakpoint chlorination process for ammonia removal	2015年12月17日	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015	Aki Kubota
72	神子 直之	Inactivation and photoreactivation of E.coli in secondary treated wastewater by various UV light sources	2015年12月17日	The International Chemical Congress of Pacific Basin Societies 2015	Akihiro Ishida
73	銭 学鵬	多元連携による日中韓循環経済モデル基地の構築と発展	2015年12月19日	第8回日中韓民間フォーラム	
74	赤堀 次郎	An Introduction to Discrete Stochastic Calculus	2016年1月18日	Sookmyung Women's University Financial Mathematics Seminar	
75	赤堀 次郎	A Macro-Economic Approach to Option Pricing	2016年1月19日	Sookmyung Women's University Financial Mathematics Seminar	
76	神子 直之	Development of mercury-free plate-type ultraviolet light source	2016年2月1日	IUVA 2016 World Congress & Exhibition	Takehiro Zukawa, Yoshiki Sasaki, Hikari Tsujimoto
77	神子 直之	Estimation of UV dose delivered and viral inactivation caused by polychromatic UV light source	2016年2月2日	IUVA 2016 World Congress & Exhibition	Eiki Nakamura
78	神子 直之	Ultraviolet resistance of indigenous coliphages and their DNA found in wastewater	2016年2月2日	IUVA 2016 World Congress & Exhibition	Nodoka Kanzaki

79	吉川 直樹 橋本 征二 天野 耕二	国際貿易を考慮した食料消費に関わる淡水資源必要量の将来シナリオ評価	2016年3月2日	第11回日本LCA学会研究発表会	山口 陽平 田村 賢人
80	吉川 直樹 天野 耕二 島田 幸司	世帯属性が家計の消費行動と環境フットプリントに及ぼす影響の分析	2016年3月2日	第11回日本LCA学会研究発表会	
81	吉川 直樹 天野 耕二	分散型エネルギーを導入した大学キャンパスにおける余剰電力の有効利用方法の検討	2016年3月3日	第11回日本LCA学会研究発表会	関谷 知治 福原 大祐
82	吉川 直樹 天野 耕二	温泉バイナリー発電のライフサイクル評価	2016年3月3日	第11回日本LCA学会研究発表会	北川 慧
83	吉川 直樹 天野 耕二	排出実態調査に基づくバイオマス残渣利用のライフサイクルシナリオ分析 大学キャンパスを対象として	2016年3月3日	第11回日本LCA学会研究発表会	細川 裕
84	吉川 直樹 天野 耕二	施肥設計を考慮した有機農作物栽培のLCA	2016年3月3日	第11回日本LCA学会研究発表会	松田 朋也
85	清水 聡行 橋本 征二	蓄積物質使用効率の推計: 日本における下水道管路のケーススタディ	2016年3月4日	第11回日本LCA学会研究発表会	Cherry Myo Lwin, DenteSebastien, WangTao
86	周 璋生	エネルギー問題のトリレンマと不確実性—日本は原子力発電（原発）をやめるべきか、続けるべきか	2016年3月5日	第3158回立命館土曜講座	
87	桜井 良	保全活動における研究者と市民との意識の相違：市民参加型活動における社会科学的研究の可能性と意義	2016年3月5日	日本環境学会第7回若手研究者発表大会	小堀 洋美 菊池 貴大 中村 雅子
88	桜井 良	多国籍の大学生に対する野生動物問題に関する英語による授業の実践とその効果	2016年3月6日	日本環境教育学会第24回関西支部研究大会	
89	赤堀 次郎	Statistical Estimation of Diffusion Processes	2016年3月15日	Probability Seminar, University of Parma	
90	赤堀 次郎	Ito atlas and around	2016年3月17日	No Free Lunch seminar, Scuola Normale Superiore	
91	佐藤 圭輔	福島県夏井川流域を対象とした水環境中における放射性セシウムの濃度形成要因に関する研究	2016年3月17日	第50回日本水環境学会年会	
92	神子 直之	複波長紫外線光源を用いた促進酸化処理における物質分解に関する基礎的検討	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	中村 知克
93	神子 直之	紫外光面発光光源の開発と有機物分解性能評価	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	佐々木 良樹 頭川 武央 黒澤 貴子
94	神子 直之	流水式紫外線装置における微生物を用いた性能評価に関する検討	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	中村 栄希
95	神子 直之	下水中に存在する野生大腸菌ファージの紫外線耐性	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	神前 和
96	神子 直之	低照度紫外線照射による微生物の不活化と光回復	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	谷田 実穂
97	神子 直之	指標細菌の不活化速度に対する紫外線波長ごとの濁質による影響の把握	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	石田 晃啓
98	神子 直之	紫外線照射による路面排水PAHsの分解および毒性推移の検討	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	鍋谷 佳希
99	清水 聡行 中島 淳	LAS 代謝物質のオゾン処理による生分解性の促進効果	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	前谷 恒太

100	清水 聡行 中島 淳	大学研究棟から発生する雑排水の再生再利用	2016年3月18日	第50回日本水環境学会年会	佐竹 孝
101	桜井 良	保全活動における研究者と市民との意識の相違：科学的アプローチの可能性	2016年3月21日	日本生態学会第63回大会	

4. 主催したシンポジウム・研究会等

No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	プロGRESSレポート会議	A棟中ウィング1階 AN108 会議室 (OIC)	2015年7月	64名	立命館大学拠点形成型 R-GIRO 研究プログラム「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」
2	第1回 RCS フォーラム	B棟3階「コロキウム」(OIC)	2015年8月	40名	立命館大学拠点形成型 R-GIRO 研究プログラム「水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点」
3	第7回立命館地球環境委員会シンポジウム	ローム記念館5階大会議室 (BKC)	2015年12月	130名	立命館地球環境委員会
4	第2回 RCS フォーラム	キャンパスプラザ 京都6階第1講習室	2016年1月	20名	水とグリーンビル研究会
5	環境省「環境研究総合推進費」(S-13)シンポジウム	B棟1階カンファレンスホール (OIC)	2016年1月	140名	環境省環境研究総合推進費(S-13)「持続可能な沿岸海域実現を目指した管理手法開発」テーマ4プロジェクトチーム(公益財団法人)国際エメックスセンター

5. その他研究活動(報道発表や講演会等)

No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	仲上 健一	水道水源・工業用水源・エネルギー源としての地下水の価値を活かす	大阪市立大学文化交流センター	2015年10月22日
2	仲上 健一	地球環境変動と水危機	長浜バイオ大学京都学舎	2016年2月17日
3	周 璋生	「中国 新常态(ニューノーマル)に挑む～長期安定への道標」環境問題とどう向き合うか	日本経済研究センター 2015年度中国研究PJ	2016年3月

6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	近本 智行	空気調和・衛生工学会	振興賞 技術振興賞	大阪ガス北部事業所改修工事-入居者の特性を考慮した設備システム-	2015年5月
2	立命館大学	資源エネルギー庁	優秀賞、特別賞 エネルギー・資源賞	エネマネハウス2015	2015年11月
3	桜井 良	Springer社	2015年の世界を変える必読論文100編(Must Read Articles from 2015)に選出	Citizen Science: a new approach to advance ecology, education, and conservation (共著論文)	2016年3月

7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	小幡 範雄	有害性災害廃棄物処理と地域復興の行財政研究	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
2	近本 智行	ヒューマンファクターを組み込んだ空調システム・制御システムの構築	基盤研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
3	橋本 征二	資源と製品から見た環境対策のプライオリティー	基盤研究(B)	2015年4月	2018年3月	代表
4	赤堀 次郎	次世代金融工学における熱核法の展開	基盤研究(B)	2013年4月	2018年3月	代表
5	竹濱 朝美	地域分散型のエネルギーシステムへの移行戦略に関する研究	基盤研究(A)	2012年4月	2016年3月	分担
6	竹濱 朝美	風力・太陽光発電の大量系統連系にかかる給電情報の開示制度に関する研究	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	代表

7	天野 耕二	小口分散型再生可能エネルギーの利用を促進する電力取引システムに関する研究	基盤研究(C)	2015年4月	2018年3月	代表
8	神子 直之	ダイナミックマイクロプラズマ励起A1GaN10Wクラス高出力深紫外発光素子の開発	基盤研究(A)	2013年4月	2016年3月	分担
9	武田 史朗	住宅地内における小規模民有広場の地域住民による自主管理及び運営モデルの構築	基盤研究(C)	2015年4月	2018年3月	代表
10	石森 洋行	循環資材等の環境安全性評価に資するみず道の影響を考慮した物質動態解析モデルの開発	若手研究(B)	2014年4月	2016年3月	代表
11	上原 拓郎	生態系と経済システムの非線型ダイナミクスを捉えた政策モデリング手法の確立と適用	若手研究(B)	2014年4月	2017年3月	代表
12	李明香	建築系と人体系の熱・水分・空気複合移動解析に基づく住環境評価に関する研究	若手研究(B)	2015年4月	2018年3月	代表
13	清水 聡行	人口減少時代における水道事業計画の策定方策と評価方法	若手研究(B)	2015年4月	2018年3月	代表
14	村山 皓	国の政策変化に伴う地方行政の政策実施活動における行政進展	基盤研究(C)	2014年4月	2017年3月	分担

8. 競争的資金等(科研費を除く)

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	近本 智行	水再生循環によるアジアの水資源開発研究拠点形成	私立大学戦略的研究基盤形成支援事業	2014年4月	2018年3月	代表
2	仲上 健一	沿岸海域の生態系サービスの経済評価・統合沿岸管理モデルの提示	環境省環境研究総合推進費	2014年4月	2018年3月	代表
3	近本 智行	教室の環境と学習効率の調査・研究(その2)	鹿島建設株式会社 受託研究費	2015年7月	2016年9月	代表
4	近本 智行	水と暮らしの重ね箱	経済産業省 エネマネハウス 2015	2015年6月	2016年1月	代表
5	橋本 征二 天野 耕二 島田 幸司 吉川 直樹	持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究	環境省環境研究総合推進費	2013年4月	2016年3月	分担
6	橋本 征二	資源循環に係る環境効率に関する調査・検討	環境省環境経済の政策研究	2015年4月	2018年3月	代表

9. 知的財産権

No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
該当無し								